



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第44回例会(6月6日)
平成26年6月13日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内
例 会 場 同上 TEL(651)1111(代)
FAX(653)5622
例 会 日 毎週金曜日12時30分～

会 長 平井 滋
幹 事 平野 佳則
会 報 金子 真也
クラブ直通電話 TEL(653)5682

Engage Rotary, Change Lives. 'ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を'…… Ron D. Burton

新入会員卓話

「東北大震災の私の忘れられない記憶」



岩手銀行 取締役本店営業部長
荒道 泰之 君

平成23年3月11日(金)。その日は週末の慰労を兼ねて管内各店を回っていた。泉中央支店、大崎支店、昼食後に塩釜支店。そして、あと数分で美田園支店に到着というその時、突然、携帯電話の緊急地震速報が鳴り出した。身構える間もなく、すぐに突き上げるような強い揺れが始まった。車を路肩へ緊急停止。ほぼ同時に対向車線にトラックが1台止まった。地震の揺れとともにそのトラックの大きなタイヤがゴムまりのように弾み、車体は上下左右に大きく揺れだした。運転手はハンドルをしっかりと握ってこらえているが、その顔は恐怖で引きつっている。その後方の家々からは土煙が上っている。激しい揺れで家からほこりが舞い上がっているのだ。その傍らの納屋が左右にゆっさゆっさと揺れていた、と次の瞬間。「うわあ～、倒れた!」、同乗者の声だ。その納屋が強い揺れに耐え切れず、なんと倒壊してしまったのだ。「なんだっ、これは、大変なことになるぞ!」

地震がやんだ後、ラジオからは女性アナウンサーの声で、8メートル以上の大津波警報が発令されていた。「ここは、東部道路の海側だ。間違いなく津波が来るぞ」「Uターンだ、逃げる!」

ふと、「仙台営業部は大丈夫だろうか」と脳裏をかすめた。1年前に耐震補強工事をしてしたが、築40年以上の建物である。そう思った時、携帯に電話が入った。「部長、大丈夫ですか? こちらは全員大丈夫です」S部長代理からだ。「こっちは大丈夫だ、人命第一で行動しろ、すぐ戻る!」

営業部への道すがら、倒木が道にせり出しているところがいくつかあった。屋根瓦が大きく崩れている家もやけに目に付いた。道路のいたる所、隆起しているところや陥没しているところがあり、注意深くハンドルを切らせた。裏道を通ったことから運よく渋滞に巻き込まれることはなかった。まもなく4号線に入ると、カーディーラーの巨大なショーウィンドウにザックリと大きな亀裂が見えた。ビルの外壁もいたるところが崩れ落ちて、瓦礫が歩道に散乱している。その脇を地下鉄に乗れなかった人たちが一塊になって家路を急いでいる。張り詰めた異様な静寂感が漂っていた。不安は募るばかりだ。駅近くの繁華街に来た時、車が渋滞で動かなくなった。いてもたってもいられず車を飛び降り、走って営業部に駆けつけた。地震発生から1時間くらいは経っていただろうか。

営業部に戻ると、すでに全員の安否確認が出来ていた。幸いケガ人はいなかったが、白い壁に入った無数のクラックが地震の激しさを物語っていた。1階金庫の扉と正面のシャッターは閉まらなくなっていたが、幸いビルの躯体に関わる損傷はなかった。非常電源は稼動しており、テレビの視聴や携帯電話の充電など、最低限のライフラインは確保できた。定期点検の賜物である。しかし、本当の戦いはこれからだった。

このとき、ライフラインの全面復旧までまさか1ヶ月以上も掛かるとは思いも寄らなかった。さらには深刻な食糧不足、ガソリン不足、そして福島原発の放射能の影響などに直面することになるのだった。

震災翌日の12日(土)、13日(日)の営業は交替制として、現金の払戻しは手払いで対応した。幸い13日(日)の昼過ぎには電気が復旧したことから、14日(月)からはオンラインが稼動し通常営業ができた。ATMも稼動したが、仙台地区の窓口営業は当初、当部のみだったので僚店の法人取引先が来店するケースも増えた。大口の現金支払者の中には、給与支払資金が含まれているケースもあり慎重に対応した。通帳、印鑑喪失による再発行や家族預金の支払い等で来店する個人客も多かった。2週間が経った頃から次第に相続手続きの照会が多くなった。遠くは高田支店や気仙沼支店のお取引先も来店された。九死に一生を得た方々も多く対応には気を配ったが、被災者の過酷な現実を目の当たりにして胸が苦しくなる日々が続いた。

食糧不足は深刻を極めた。都会の盲点である。震災直後からスーパーやコンビニなどの食料品店や飲食店はすべて閉店。再開のめどは全くたっていないかった。備蓄の乾パンは3日ほどで尽きた。食料の買出し部隊を編成して市内に解き放ったが、成果は僅かだった。そんな折総合

企画部の計らいで、仙台地区のために支援物資を積載してきたプリウスが当部の車両として使えることになった。ガソリン不足で遠くまで買出しに行けない状況が続いていたので、ハイブリットの高燃費性能はまさに天の助けとなった。総合企画部の決断に改めて敬意を表したい。

すぐにM部長代理をキャップとした買出し部隊を編成。プリウスで食料が豊富にあると見られていた山形へ向かわせた。まもなく米200キロという大きな成果を挙げて帰ってきた。そのときの部隊の満面の笑みは今でも忘れない。皆で大漁を祝うかのように喜んだ。これで僚店にもお米を配ることができたのである。

早速昼食用のおにぎりを作るために、賄い担当者を行員から募った。すぐに「私がやります」とひとりの女子行員が手を上げた。彼女は仕事の傍ら賄い婦になりきって、1ヶ月の間全員分のおにぎりを作ってくれた。また、残ったおにぎりを夕方独身者に持たせていたが、その気配りと優しさは今でも私の脳裏に焼きついている。

食料調達の件でもうひとつ。震災当初、連続休暇中で盛岡の自宅にいた役席(男)の話である。実は交際中のお相手は当行行員でお米屋さんの娘であった。これ幸いとお米の調達とスーパーでの買出しを指示。休暇明けの夜7時頃、2人でお米と食料を持って当部に到着した。高速道路は乗り入れ禁止だったので4号線を5時間かけひたすら走ってきた由。本人の車にガソリンの余裕がなかったのでやむを得ず彼女の車に乗って来たのだ。そのあおりで、彼女は暗闇の4号線を1人で盛岡に引き返す羽目になった。しかも、翌日は仕事である。到着したのは、夜中の1時を回っていたという。彼女の使命感と優しさに感謝の気持ちでいっぱいである。

震災後3週間くらいたって、相変わらずスーパーの前には早朝から長蛇の列が出来ていた。この頃、整然と並ぶ日本人の行儀の良さが世界で話題になった。絆も話題になった。しか

し、瓦礫の受け入れに反対する各地域の住民を見て興ざめしている昨今である。「何が絆だ！」。

お隣の住友信託銀行（現三井住友信託銀行）から鳥山支店長のお計らいで支援物資が届いたのもこの頃である。お蔭様で水やカップラーメンなどを僚店に配ることができた。やはり、隣人はいざというときに頼りになるものである。日頃からのお付き合いが大切であるとしみじみ思う。改めて心から感謝申し上げたい。

ガソリン不足はしばらく続き、スタンドにも長蛇の列が出来ていた。給油は20Lを上限とし、千円未満のお釣りは払わない業者まで現れた。空恐ろしい商売根性である。実は震災直後の当部においてエンブレ状態の公用車が2台ほどあった。業務に支障を来たしたのは言うまでもない。これを教訓に現在、ガソリン管理表なるものを作成して、給油計の針が2分の1を指したらすぐに給油することになっている。「備えあれば憂いなし」である。

原発放射能汚染からの避難も実は喫緊の課題となっていた。仙台地区は福島原発から90キロ～110キロの距離にあり、水面下では避難している人々が結構いたようだ。仙台市は当初、放射線の量を公表しておらず、市民の不安を

煽った。決断は急を要していた。結局、行員の家族の安全を第一に考え、急遽総合企画部に救援バスをお願いした。結局、1～2ヶ月で帰宅することになるのだが、この決断は後悔していない。線量の高いときに避難していたので、一定の効果はあったはずだ。

ライフラインの復旧は、電気と水道は比較的早かったがガスが完全復旧したのは、震災後1ヶ月以上も経った4月中旬である。ガスは郊外から順次円が小さくなるように復旧が進むので、市街地ほど復旧が遅れた。この頃には、飲食店やスーパーもほぼ通常営業となり食糧不足もほぼ解消し落ち着きを見せていた。

最後に震災当時の当部の行員たちについて一言。手前味噌になるが、組織を最優先して行動していた点で全員に及第点をあげたい。チームワークの良さ、思いやりのある行動、我慢強さ、機転の利いた行動などなど、改めて感心する。あのような苦難を乗り越えることができたのも、素晴らしい部下に恵まれたからこそである。

本編は事実の一断面を切り取ったに過ぎないが、後世に語り継ぐことでいささかでも教訓としてお役に立つことができればこんな嬉しいことはない。1日も早い復興を願ってやみません。

★東京支部より 会合のお知らせ★

皆さん、ご無沙汰しています。

いよいよ梅雨に入りましたが、お元気でお過ごしのことと思います。まもなくW杯も始まり、日本代表がどこまで頑張ってくれるか、気にかかるところです。

東京支部恒例の会合ですが、今回はちょっと趣向を変え両国の老舗ちゃんこ店で開くことにしました。（矢後さんにお世話になりま

した）暑い中ですが、多くの皆さんのご参加をお待ちしております。

東京支部 小出 茂

1. 日 時 2014年7月7日(月) 18:30～
2. 場 所 両国ちゃんこ店「川崎」
3. 会 費 8,000円

例会報告

第44回例会
平成26年6月6日(金)

- 於 川徳 12時30分 開会点鐘
- ・司会 平井 滋会長
- ・ソング 奉仕の理想
- ・国歌 君が代
- ・会長報告 平井 滋会長
- ・ゲスト カムチョンプー・スリーボンさん(2014学年度ロータリー米山奨学生)・シュヌリゲ・マチルダさん(本年度長期交換留学生)
- ・ビジター 鈴木貞雄さん(名誉会員)・守屋和彦さん(盛岡西北RC)。
- ・皆出席バッチ 近藤 駿君(28年)、星 克彦君(3年)。
- ・入会祝 柴田義春・近藤 駿・藤村吉隆君。
- ・誕生祝 佐藤義正君。
- ・結婚祝 荒道泰之・村井研一郎・福田荘介・米内 正・阿部 広・星 克彦・大見山俊雄君。
- ・幹事報告 樋山 桂副幹事

【他クラブ例会変更のお知らせ】

- 盛岡北R.C.=6月18日(水)は、クラブ協議会開催のため18:30~時間変更。6月25日(水)は特別休会。
- 盛岡東R.C.=6月16日(月)は、通常夜例会を昼例会に時間変更。6月30日(月)は、最終例会のため18:30~時間変更。
- 盛岡中央R.C.=6月17日(火)は、通常夜例会を昼例会に時間変更。6月24日(火)は、最終例会のため18:30~時間変更。
- 盛岡西北R.C.=6月25日(水)は、盛岡滝ノ沢R.C.との合同例会のため19:00~時間変更
- 盛岡滝ノ沢R.C.=6月26日(木)は、盛岡西北R.C.との合同例会のため25日(水)19:00~日時変更。

【ニコニコBOX】

- ◆榎崎憲二君…先日のゴルフ練習会で優勝してしまいました。前回優勝の藤村会員は今回はブービー

メーカーでしたが、私とのグロスのスコアの差はわずかに1でした。ダブルペリアの常とは言葉、私の身に余る幸運と、藤村会員のあまりと言えはあまりな不運、無念を思いニコニコします。楽しいゴルフ会ありがとうございました。

◆斎藤和好君…「新老人の会」岩手支部での設立記念フォーラムのお知らせです。来る7月13日(日)ホテルメトロポリタン・ニューウィングにて、当会理事長日野原重明先生の「いのちを守り、平和を築く」という講演会があります。詳しいことは後で会場内に置かせていただきますのでどうぞよろしく!ということでニコニコします。〔「新老人の会」岩手支部代表〕

●メークアップ

地区=樋山君。盛岡西R.C.=千葉・高柳君。盛岡東R.C.=星・勝部・吉原君。盛岡中央R.C.=江口君。クラブ委員会=飯塚・岩野・田中・榎崎・西田君。

出席報告 □ 会員数 / 72 名 □ 出席数 / 41 名 □ 出席率 / 60.29% □ 前々回修正出席率 / 82.35%

プログラムの
お知らせ

- ・6月13日(金) 会員卓話 福井誠司会員「もっと盛岡」
- 20日(金) 第4回クラブアッセンブリー
- 26日(木) ターミネートパーティー(27日例会変更)

- 本号編集担当 / 高柳 一郎
- 次号編集担当 / 中山 哲克